

別記様式(第9条関係)

(その1)

政務活動費収支・実績に関する報告書

令和6年4月30日

(宛先)飯塚市議会議長

会派名
経理責任者名
(又は議員名 藤間 隆太)

令和5年度 政務活動費収支・実績に関する報告について

飯塚市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項の規定により、次のとおり
令和5年度 政務活動費 収支・実績報告書を提出します。

令和5年度 政務活動費収支・実績に関する報告書

1 収入
政務活動費 440,000 円

【内訳 40,000円×11月 】

2 支出 447,918 円

3 残額 0 円



(その2)

(単位：円)

項目	金額	内訳		備考
		科目	金額	
研究研修費	0	会場費	0	
		講師謝金	0	
		出席者負担金・会費	0	
		交通費	0	
		宿泊費	0	
		その他の経費	0	
調査旅費	0	交通費	0	
		宿泊費	0	
		その他の経費	0	
資料作成費	0	印刷製本費	0	
		翻訳料	0	
		事務機器等購入費	0	
		リース代	0	
		その他の経費	0	
資料購入費	0	資料購入費	0	
広報費	447,918	広報紙等印刷製本費	447,918	広報紙
		送料	0	
		会場費	0	
		その他の経費	0	
広聴費	0	会場費	0	
		印刷製本費	0	
		その他の経費	0	

備考

- 1 備考欄には主たるものを記入すること。
- 2 領収書その他具体的に支出の内容を明らかにした書面の証拠書類を添付すること。

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤間 隆太)

(広報費 No.1)

(領収証等貼付箇所)

発行日 2023年11月17日

領収書

飯塚市議会議員 藤間隆太 御中



領収金額

¥60,000-

但し、活動報告vol.1 (A4/6,000部) 印刷代として
上記正に領収いたしました。

ひまわりデザイン制作
デザイン制作
東京都練馬区貫井1-39-1-403
TEL:080-5476-8644

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤間 隆太)

(広報費 No.2)

(領収証等貼付箇所)

領 収 書

飯塚市議会議員 藤間隆太 様

発行日 2024年2月3日

金額 ¥42,542 (税込)

但 活動報告(詳細報告) 4,000部

上記正に領収いたしました。

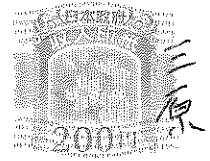
artroom utakata

〒822-0002

福岡県直方市頓野397-1

TEL : 080-3992-4821

artroom
utakata



領 収 書

飯塚市議会議員 藤間隆太 様

発行日 2024年2月28日

金額 ¥85,376 (税込)

但 活動報告 vol.2 8,000部

上記正に領収いたしました。

artroom utakata

〒822-0002

福岡県直方市頓野397-1

TEL : 080-3992-4821

artroom
utakata



政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 藤間 隆太)

(広報費 No.3)

(領収証等貼付箇所)

No. 1

2024年 3月 27日

領 収 書

飯塚市議会議員 藤間 隆太 様



¥ 260,000 -

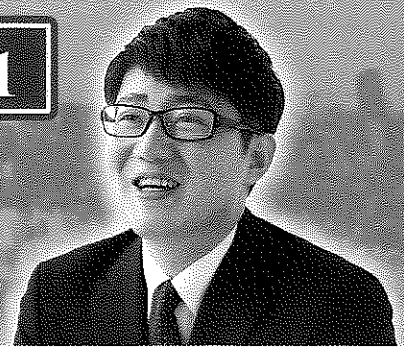
但し 2024年活動報告ポスター
デザイン料及び印刷費(18,000部) として

上記正に領収致しました。

内 訳	
税抜金額	¥ 236,363 -
消費税額	¥ 23,637 -
消費税率	10%

松藤 浩一
〒 230-0074
神奈川県横浜市鶴見区北寺尾2-11-26 102
TEL :090-6133-9344
登録番号:T2810210734955





フジマリュウタ

飯塚市議会にて、以下のテーマに関する議論をいたしました

令和5年6月議会

- ▶ 過疎地域での創業に対する支援拡充
- ▶ 子ども習い事支援金制度の創設
- ▶ 保育士の負担減への取組み

令和5年9月議会

- ▶ 庄内駅への駐輪場の設置
- ▶ フリースクールへの支援拡充
- ▶ 公営住宅の改修
- ▶ 起業家支援の拡充

Instagramや公式LINEでも
情報発信をしています。
お気軽にご連絡くださいませ。



》 議会報告(令和5年6月議会)

課題

飯塚市には、お買い物が不便な過疎地域が存在している

フジマの
主張

過疎地域に買い物やサービスの場を作ることで、その地域の魅力が向上し、過疎化を食い止めることができます。市有地の活用や広報の協力などを行政が積極的に主導することで、過疎地域の経済活性化を図るべきと主張しました。

課題

飯塚市には、子どもの習い事に対する支援制度がない

フジマの
主張

福岡市では、子ども習い事支援金として月額1万円を交付しています。スポーツといった習い事は、困難に立ち向かう心やポジティブな考え方を育てる場として、子どもにとって重要な場であるため、飯塚でも同様の制度の検討をお願いしたいと主張しました。

課題

飯塚市では、保育士の負担額への取り組みが十分ではない

フジマの
主張

保育士の負担を軽減する、裏を返せば1人の児童に対してより目が行き届く環境づくりを飯塚市が行う必要があります。そのために、保育士を基準以上に多く配置した場合、補助金を出して欲しいと主張しました。

》 議会報告(令和5年9月議会)

課題

庄内駅に駐輪場がなく、自転車が乱雑に駐輪されている

フジマの主張

現在、筑前庄内駅前の歩道および多目的トイレ付近に自転車が乱雑に駐輪されており、駅の利用に支障が出ている状況があると周辺住民の方々より伺っております。駐輪場の設置を早急をお願いしたいと主張いたしました。

課題

飯塚市では、フリースクールへの支援が不十分

フジマの主張

フリースクールは、社会的な意義が大きい事業と考えます。教育に力を入れている飯塚市として、フリースクール運営者への資金支援、フリースクールへ通う生徒の送迎支援などを通じて、より多くの子供に学びの機会を提供すべきと主張しました。

課題

飯塚市では、公営住宅の老朽化が進んでいる

フジマの主張

公営住宅の大半が昭和40年代後期から昭和50年代にかけて建設されており、約6割の住宅が既に耐用年数を超過しています。建物の改修を急ぐと同時に、トイレの水洗化工事など、入居者に寄り添った対応をお願いしたいと主張しました。

課題

飯塚市では、起業家支援が十分ではない

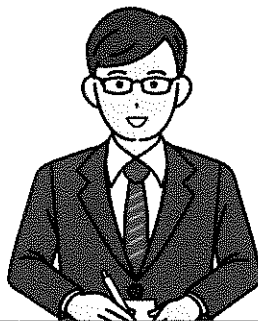
フジマの主張

福岡市新規創業促進補助金は、起業時に法人を設立する際、登録免許税(15万円)を支援する制度です。飯塚市においても、起業を促し、雇用と税収を増やすための制度を検討いただきたいと主張しました。

議員定数に関する協議

現在、飯塚市議会議員の定数に関して、議員全員で協議を行っております。私は、議員の数は減らすべきだという信念のもと、議論を進めております。

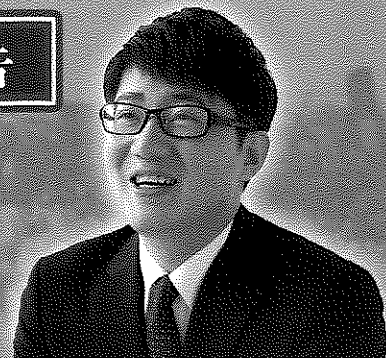
フジマに教えてください！お困りごと



お困りごとがございましたら、お気軽にInstagramまたは公式LINEからご連絡くださいませ。一般的な市政のご相談に加えて、「起業したいがこんなアイデアどう思いますか?」「選挙に出たいがどうしたらいいですか?」といったご相談も頂戴しております。フジマリユウタへのお問い合わせはこちら▶



フジマリュウタ



公営住宅の老朽化に関する一般質問

Q フジマの質問

飯塚市の公営住宅の大半が耐用年数を超えている。公営住宅の改修計画などは、市のほうで具体的に計画をしているか？

A 飯塚市役所答弁

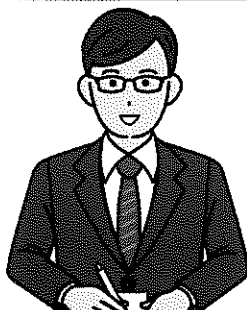
平成24年度から「飯塚市公営住宅等長寿命化計画」を策定し、5年ごとに見直しを行っている。本計画の見直しの際には、現地調査の上、各住宅の劣化状況などを的確に把握したうえで、以後、年次ごとに実施する屋上防水工事や外壁補修工事、給水管取替工事などの大規模な保全管理計画を策定し、実施している。

フジマの主張

- 公営住宅制度において、国及び地方自治体は「健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備するもの」とされている。限られた予算の中で苦心されているのは理解するが、特に古い公営住宅に住む方から、住居や設備に関する苦情が多いのが実情である。しっかりと予算を増やし、改修を進めていくことを要望する。
- 時代の流れとともに、トレイの水洗化を望む声も増えている。時代に合わせた住環境の整備についても配慮願いたい。

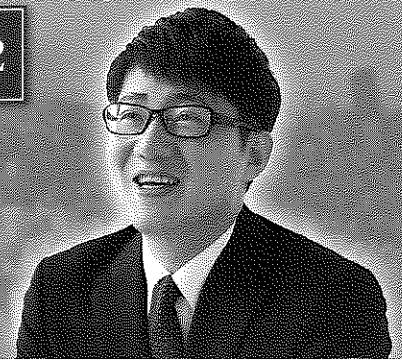
飯塚市議会議員 藤間隆太 (090-3621-0013)

フジマに教えてください！お困りごと



お困りごとがございましたら、お気軽にInstagramまたは公式LINEからご連絡くださいませ。一般的な市政のご相談に加えて、「起業したいがこんなアイデアどう思いますか？」「選挙に出たいがどうしたらいいですか？」といったご相談も頂戴しております。
フジマリュウタへのお問い合わせはこちら▶





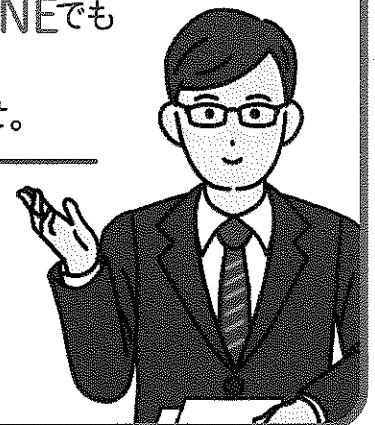
フジマリュウタ

飯塚市議会にて、以下のテーマに関する議論をいたしました

令和5年12月議会

- ▶ 市役所の窓口対応について
- ▶ いいづかブランドについて

≡ インスタグラムや公式LINEでも
情報発信をしています。
お気軽にご連絡くださいませ。



≫【議会報告】令和5年12月議会

課題①

市役所の窓口対応やサービスの改善が必要

フジマの 主張

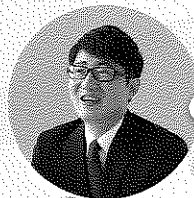
市役所の窓口でたらい回しにあったと感じた市民がいます。来庁した市民に寄り添うために、まずは問題点を洗い出す必要があります。窓口対応に関する市民満足度を数値化するなど具体的な調査方針を提案。担当課の部長より「市民満足度向上のためのアンケート調査は必要。令和6年度中の実施に向けて分析・調査手法を含めて検討する」と回答を頂きました。

課題②

「いいづかブランド」の支援強化

フジマの 主張

令和3年9月1日より開始した「いいづかブランド認定製品」。令和3年度は17製品、令和4年度は9製品が選ばれました。飯塚市の知名度向上と特産品の創出を推進し、さらなる地域経済の活性化を図るために「いいづかブランド認定製品支援補助金」の補助対象経費を現在の「2分の1」から引き上げを要望。認定証に加えて、市長の表彰状授与など地域に根ざした取り組みになるような施策の拡充を提案しました。



フジマリユウタの 知ってなっとく! いいづか

Q

A

&

» ① 「いいづかブランド認定制度」とは?

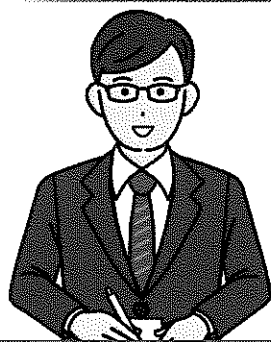
A 令和3年から始まった飯塚市の新名物を発掘するプロジェクト。ブランド認定を受けると、市主体のイベントに出店できたり、販路開拓に必要な補助金を行政が交付します。「いいづかブランド」に認定されると、製造設備の購入費(上限30万円)または、販路開拓の費用(上限25万円)といった補助金も事業者に支給されます。

総務省の「令和5年度ふるさと納税に関する現況調査」によると、飯塚市の令和4年度ふるさと納税寄附金額は全国第8位の約90.9億円。しかし「飯塚市」の名前が日本全国に広まったかといえ、まだ道半ばです。飯塚市で生まれた一次産品、加工品、工芸品を「いいづかブランド」として全国へ発信することで飯塚市の中小企業者及び小規模事業者の競争力・企業価値を高め、ブランド想起機能を活用した地域の認知度向上にも貢献でき、飯塚市の未来をより豊かにする制度です。

» ② 「飯塚市販路開拓支援補助金」とは?

A 国内外へ向けた販路開拓に取り組む飯塚市の中小企業者に対する補助金で補助対象は経費の3分の2、限度額は75万円です。対象経費は「謝金」、「旅費(専門家旅費、職員旅費)」、「事務費(展示会出展料、印刷製本費、通信運搬費、通訳・翻訳料)」、「委託費」と多岐に渡るため活用しやすい魅力的な制度となっています。

フジマに教えてください! お困りごと



お困りごとがございましたら、お気軽にInstagramまたは公式LINEからご連絡くださいませ。一般的な市政のご相談に加えて、「起業したいがこんなアイデアどう思いますか?」「選挙に出たいがどうしたらいいですか?」といったご相談も頂戴しております。

フジマリユウタへのお問い合わせはこちら▶

Instagram
でのお問い合わせ



公式LINE
でのお問い合わせ



フジマリュウタ



飯塚市議会にて、以下のテーマに関する議論をいたしました

- 行政と民間の力を合わせた問題解決の提案
- 子どもが習い事に通う費用の支援制度の提案
- 筑前庄内駅前の公共駐輪場設置の提案
- フリースクールに通う生徒への支援
- 役所サービスの改善、飯塚産品の振興の提案
- 投票率の向上のための取り組み
- 次世代の行政組織へ進化するための取り組み

Instagramや公式LINEでも
情報発信をしています。
お気軽にご連絡くださいませ。

Instagram
でのお問い合わせ



LINE
でのお問い合わせ



飯塚市議会 令和6年第1回定例会



フジマリュウタの想い

理想を言うだけの発言にならないよう、1つ1つの質問に際してしっかりと準備をいたしました。実現可能性を考え、予算は多額になりすぎないか、ほかの自治体で導入しているか、様々な観点から検討をいたしました。今後も1つ1つの議題に対して、誠心誠意向き合ってまいります。

感謝の言葉

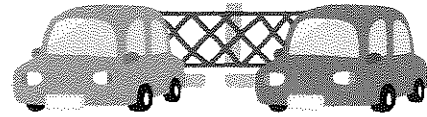
私が議員になってから早くも1年が経ちました。改めて貴重な機会を与えていただき、心より感謝申し上げます。この1年間は、私にとって大きな学びと挑戦の連続でした。私は議員になる前の期間、長く飯塚に貢献してきた人間ではありません。まずは飯塚のことを謙虚に学ぼうと決め、様々な方にお話をお伺いした1年でした。

条例や予算の審議に関しては「分からないからなんとなく賛成する」ということは絶対にしませんでした。しっかりと、情報収集して1つ1つの意思決定に向き合っていました。公正さと透明性を大事した議会での意思決定に今後も貢献し、より良い飯塚の実現に向けて邁進してまいります。

筑前庄内駅前公共駐輪場設置の提案

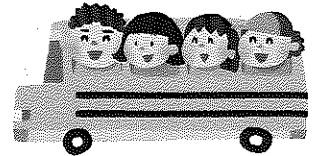
現在飯塚市内では、鯉田駅、浦田駅、新飯塚駅、飯塚駅、天道駅、筑前大分駅の6駅に市が運営する駐輪場が併設されていますが、筑前庄内駅にはありません。

「筑前庄内駅前の歩道は幅員が3.5メートルあり、現在のところ一時的に自転車が駐車されても歩行者の通行に支障がある状況ではない」と担当課の部長から回答がありました。しかし、自転車が風によって倒れるケースもあり通行人の妨げとなっている現実をお伝えし、再度検討いただけるように提案をしました。



フリースクールに通う生徒への支援

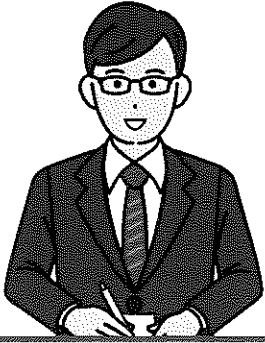
学校に行きたくても行けない生徒に非はありません。しかし、送迎の問題によってフリースクールへの通いづらさを感じている子どもが多数おります。フリースクールへ通う際、予約乗合タクシーやコミュニティバスを安価または無償で使うことができないか提案いたしました。子どもに学びの機会を与えるのは社会の役割です。飯塚市は「教育に力を入れる」と宣言しています。学びたい人がちゃんと学べる社会に向けて、これからも皆さまのお声を聞きつつ、取り組んでまいります。



市役所サービスの改善、飯塚産品の振興の提案

住みよいまちづくりには行政サービスの充実が欠かせません。市役所の対応や窓口業務に問題点がないか確認するため、窓口対応に関する市民満足度を数値的に調査する必要性を示しました。担当課の部長より「アンケート調査は必要。令和6年度中の実施に向け、実施方法を検討していく」と回答をもらい、行政サービス改善へ一歩前進しました。また、飯塚市の知名度向上と特産品の創出を推進し、さらなる地域経済の活性化を図るため、2021年9月1日より開始した「いづかブランド」の支援強化の議論をしました。行政の財政負担を増やさずに、企業にとってより良い制度となるように具体的な制度変更案を提言しました。「いづかブランド」の認定を受ける事業者の方には、飯塚のPRしていただく役目もあります。事業者の方へ敬意をこめて、次回以降は市長から賞状を授与いただけないかと要望し、市長に賛同いただきました。

フジマに教えてください！お困りごと



お困りごとがございましたら、お気軽にInstagramまたはLINEからご連絡くださいませ。一般的な市政のご相談に加えて、「起業したいがこんなアイデアどう思いますか?」「選挙に出たいがどうしたらいいですか?」といったご相談も頂戴しております。

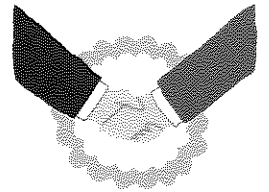
フジマリュウタへのお問合せはこちら▶



議会報告 / 令和5年6月議会 一般質問

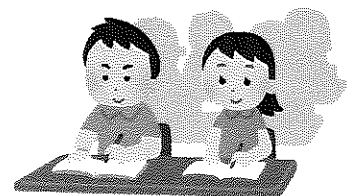
行政と民間の力を合わせた問題解決の提案

人生初めての一般質問は、飯塚市における官民連携の取り組みについてです。飯塚市では、市民の健康づくり、高齢者や子どもの見守り、災害時における対応支援、人材育成、行政や地域の情報発信など様々な分野で、市民サービスの向上や地域の活性化のために民間事業者の技術やノウハウを活用しています。今後も積極的に官民の連携を進めていくよう要望しました。また、行政や民間のサービスが少なく不便な過疎地域の魅力を向上させる取り組みも重要です。買い物やサービスを呼び込むための土地の無償提供など娯楽や生活環境を良くする対策を呼びかけました。



子どもが習い事に通う費用の支援制度の提案

経済的な理由での「教育の格差」が問題です。福岡市には「子ども習い事応援事業」という制度があります。所得制限はありますが、子どもの習い事に使える月額1万円のクーポン券を発行しています。ぜひ導入いただきたいと提案いたしました。また、子育て世帯への負担軽減策である5万円のお祝い金給付の継続や、子育て世代の声を反映した制度の拡充を呼びかけました。新しい世代をすこやかに育てることができない地域に未来はありません。「子育てしやすい飯塚市」を目指すために引き続き議論を続けていきたいと思っております。



投票率の向上のための取り組み

投票率が低下傾向にある飯塚市。「投票率向上」にむけたさらなる取り組みが必要であると担当部署に訴えました。投票箱を載せた車両が投票希望者の自宅前を巡回する「オンデマンド型移動投票所」など、他市の取り組みを参考に提案をいたしました。議論を重ね、若年層の投票率が他の世代に比べて低いことから、若者に対する選挙啓発を優先して取り組むという回答をいただきました。

次世代の行政組織へ進化するための取り組み

高度成長から安定成長へ変化し財政環境も厳しくなる中で効率的な行政運営を行うために、各部署から優秀な人材、設備、ノウハウを1カ所に集約した組織横断チームである「センター・オブ・エクセレンス (CoE)」の導入を市長に投げかけました。飯塚市役所の職員は行政だけでなく、民間での豊富な経験を持つ人材がたくさん在籍しています。飯塚市のトップが若手から管理職までさまざまな職員と交流を図り、活躍の場を与えることで飯塚市が革新的な行政機関に生まれ変わると信じています。

委員会報告

私が所属する協働環境委員会では「メガソーラーの規制」に関する議論を行っております。私は当初より、メガソーラーの規制が必要と訴えております。いかに実効性のある規制を作るかという議論を深めてまいります。

現在、議会では、議員定数の削減を議論をしております。私は議員の数を減らすべきと強く主張して、議論を進めております。「議員の定数が減ると自分が落選するかもしれない」といった議員の私情にとらわれず、市民の声に沿った判断ができるよう、ほかの議員に今後も訴えてまいります。



